

研究課題名	肝細胞がん患者に対する放射線治療成績の後方視的研究
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 放射線科 氏名 長野拓也
研究期間	(西暦) 2018年 5月 ~2019年 3月
研究の意義・目的	<p>当院において、肝細胞がん患者に対しては、原発病変に根治的に定位放射線治療を、また、門脈腫瘍栓やオリゴメタスターシス、転移病変には緩和的照射を行っている。</p> <p>本研究ではそれぞれの照射法に対する治療効果や有害事象を評価し、生存率が伸びるかどうか評価する。また、他施設と異なり、緩和照射の総線量が39Gyと強めに照射することが多い。これによる治療効果の違い、副作用を評価する。</p> <p>一般に肝細胞がんは放射線に対する治療抵抗性があるとされているが、特に緩和的照射に関する治療線量は定まっていない。本研究により、至適線量が明らかになれば、肝細胞がんの予後延長が期待できる。</p>
研究の方法 (対象期間含む)	<p>診療録記載より、転帰、年齢、性別、照射部位、照射線量、病期、副作用、血液検査結果などの情報を取得する。</p> <p>情報収集は2018年5月31日より開始、2018年12月31日までに終了し、その後、解析を行う。調査対象期間は2011年1月1日から2018年5月1日まで、2019年3月31日までに解析を終え、公表を行った時点で本研究を終了とする。</p> <p>治療効果の評価は、生存期間、画像上の完全奏効率、腫瘍マーカーの値を用いる</p> <p>生存期間は Kaplan-Meier 法を用いて照射開始後の生存割合を解析する。</p>
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む)	①診療録から、患者の生存期間、照射線量などの情報を過去にさかのぼって抽出する。症例はすべて独自の登録番号をもちいて記録する。患者の個人情報のデータは匿名加工情報として取り扱う。症例はすべて独自の登録番号をもちいて記録される。登録番号と患者IDの対応表は別のファイルに記録される。この匿名化は患者の情報を取得してから即座に行われる。
②利用し、又は提供する 試料・情報の項目	②患者の転帰、年齢、性別、照射部位、照射線量、病期、副作用、血液検査結果、画像検査など
③利用する者の範囲	③研究責任者
④試料・情報の管理 について責任を有す	④長野拓也
問合せ先	<p>当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ</p> <p>〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 放射線科 氏名 長野拓也</p> <p>TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525</p>